

ほたるしょうだより

【^{かていすうはいふ}家庭数配布】

とよなかしりつほたるがいけしょうがっこう

豊中市立螢池小学校

No. 10

れいわねん3年(2021ねん)11月19か

令和3年(2021年)11月19日

こうちよう

校長

ありもとゆうこ

有元 祐子

学校教育目標

ともに学び、活動し、やりぬくよろこびを創造する一学びを力に一

とことんともだちとことんやりぬくほたるっこ

^{こうかいけんきゅうはっぴょうかい}公開研究発表会(土曜参観)^{200M}によるオンライン配信に^{はいしん}さんかご参加ありがとうございました。

初めてのオンライン参観に、多数ご参加いただきありがとうございました。

事前に考えられる準備をしていたつもりでしたが、当日いろいろな課題が出てきて見づらい状態のクラスもあったと思います。してみなければわからないことが多くありましたので、この経験を今後に生かしていきたいと思ひます。アンケートにも多数ご回答いただきありがとうございました。

まだ、受け付けておりますので感想ご意見いただければありがたいです。

全体会についてですが、児童のタブレットはYouTubeが見られない設定になっていますので、ご覧いただけないことがわかりました。申し訳ございませんが、お手持ちの端末で見ていただくようお願いいたします。



^こ「^{あんぜん み}子どもの安全見まもり隊^{たいれんらくきょうぎかい}連絡協議会」と「^{がっこうひょうぎいいんかい}学校評議委員会^{かいさい}」を開催しました。

例年、2学期が始まる直前の土曜日に行っている「子どもの安全見まもり隊」連絡協議会を11月6日に行うことができました。豊中市の事業で『登下校時の通学路における子どもの見まもり活動等を行うことにより、子どもの安全を確保することを目的とする。』ものです。今年度は、29名の方が隊員として活動してくださっています。本校では、毎月初めの登校時(7:50~8:20)に通学路見まもり活動をしていただいています。(毎日、見まもり活動をしてくださっている方もおられます。)自己紹介をしてもらいながら、登校時の児童の様子も話していただきました。「下を向きながらあいさつをしていたのが、慣れてくると顔を上げてあいさつしてくれるようになった。」「公園の見回りもしています。」「移動しながら見守っています。」等の話がありました。ピンク色の旗等を持って見まもりをしてくださっています。たくさんの地域の方の目があることを感謝しています。他にこの事業では、豊中警察署生活安全課少年係のスクールサポーターとも連携し、学期に1~2回情報のやり取りと下校時の見まもりをしていただいています。

同日に、こちらも延期になっていた第1回学校評議委員会を行いました。学校評議委員会は、地域や社会に開かれた学校づくりを推進し、学校が家庭や地域と連携協力しながら学校教育活動をするため、保護者や地域の方の意見を幅広く聞くためのものです。螢池自治会連合会会長、螢池公民分館分館長・螢池子ども教室代表、螢池遊びのプロジェクト(HAP)代表、螢池公民館副館長で元PTA会長、螢池小学校芝生化実行委員会会長、PTA会長の6名の方に評議員をしていただいています。3年生が1学期にする予定だった町探検がHAPさんに協力いただいて、やっと10月末に実施できました。3学期には、1年生のカルタ大会を予定しています。また、校区社会福祉協議会の協力で2年生が世代間交流で昔遊びも予定しています。

話の中で、麻田公園の事が出ました。老人クラブの方が毎月3回6のつく日に1時間かけて麻田公園を清掃してくださっています。が、おかしな空が多数落ちていてごみの持ち帰りについて子どもたちに伝えておいてほしいということでした。お家の方でもお声かけお願いいたします。



^{ちょうかい}朝会で^{はなし}こんなお話をしました。

もう1ヶ月以上前の話になりますが... 10月11日の月曜日から、朝・20分休み・昼休みに運動場で全学年が遊べるように変更しました。おにごっこも再開しました。新型コロナウイルス対策のため、昨年度から朝遊びはなし・20分休みと昼休みは3学年ずつ運動場で遊べるルールでしたが、感染症も落ち着き始めたので、教職員で検討し変更を決めました。つい先日も、雨が降った後の運動場の状態があまり良くなかったのですが、「運動場のぬかるんでいる所を避けて遊びましょう。」の放送に、「やった〜!!」と、子どもたちの歓声。小学生にとって思いっきり遊べる環境は、とても大事ですね。

1週間後の10月18日の朝会では、3つの事を子どもたちに質問して手を挙げてもらったり、となりの人と話してもらったりしました。(オンラインなので、子どもたちの反応が生で見られないのが残念です。) 2つめの質問は、前任校のあるクラスの黒板に貼ってあった言葉です。先生達の話し合いの中で、朝の準備や授業の片付けをしないまま遊びに出してしまう子どものことが課題として出ていました。そこは子どもたちときちんと約束していこう!と話し合いました。そこで、この質問をして、手を挙げて自分をふりかえってもらいました。最後に3つめの質問です。子どもの遊びの中では、いろんなもめごともあります。それをうまく解決して、友だちとの関係をつくるのも大切な学習です。これは、となりの人とペアトークをしてもらいました。【喧嘩】という漢字は、口偏で足や手偏ではないこと。けんかに手や足が出てしまったら暴力になってしまう。そうならないもめごとの解決方法を考えていこうと話しました。

この3つめの質問にからめて、11月の朝会では、『社会を明るくする運動の作文(小学生の部)入賞作品』(今年は豊中市内応募作品4638作品あったそうです。本校では5年生が応募しています。)の中から、1つ作文を読みました。豊中市内の6年生の作文です(本校児童ではありません)。低学年には難しかったかもしれませんが、同じ小学生が書いた作文からも感じ取ってもらえたらと、全校児童にふりがなをつけたプリントを配ってオンラインの画面越しですが読んでみました。最後に、この作文を書いた子自身の体験と思ったことであることを児童には伝えました。

